

## JR小野田線沿線地域公共交通持続化プラン 実施スケジュール

区分	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
持続化プラン	計画策定	改定				
事業実施		集中取組期間 (R7.4~R12.3)				
		段階的拡大期間	本格運用期間			
対象者		高校生 (全学年)			大学生 (全学年)	
共通乗車制度	各交通事業者と調整 参加事業者確定  制度設計 ・サービス内容 ・対象エリア ・オペレーション ・運賃精算、配分ルール等  効果測定、施策評価の手法 検討	実施準備	制度運用 (実施状況を踏まえ、適宜制度改善)			
システム開発	課題検討 ・運用オペレーション ・出力データ ・不正使用防止方策等  システム開発	試験運用	本格運用 (実施状況を踏まえ、システム改修)			
ダイヤ・利用環境の改善	現行ダイヤ、利用環境の 課題抽出 増便・ダイヤ調整、利用 環境改善の必要性や対応 検討、諸調整	鉄道・バスのダイヤ・利用環境の改善 (増便・ダイヤ調整、乗継環境の整備等、段階的に拡充・実施。実施状況を踏まえた微調整)				
広報・利用促進	共通乗車制度利用ガイド (共通時刻表・マップ)の作成  高校・大学との連携体制構築  協力事業者・商業施設の確保	インセンティブ施策の検討・調整	商業施設等と連携した重点告知	利用促進キャンペーンの展開 (インセンティブ付与)		
	JR小野田線活性化委員会公式SNS、市広報紙・HPによるPR					
活性化委員会	勉強会 (月1回程度開催)	活性化委員会による進行管理 (実施状況の把握、課題抽出、改善策検討)				
	実務者会議 (必要に応じて検討テーマごと開催)					
	活性化委員会 ○ ○ ○					
効果測定		○	○	●	○	●

※制度の詳細、各種課題の対応等、全体のコストが見えた段階で、県補助金や国実証事業の活用、予算対応等について検討する。